

2分の1成人の主張 — 将来の夢を伝え合おう —

4年国語科 2月〈7時間〉
附属新潟小学校 教諭 桑原 浩二

1 本単元で目指す姿

文章化過程の往還を通して、意図をもって文章を構成する子ども

具体的には、「言葉による見方・考え方」を働かせ、文章を構成する力などを発揮して文章化過程を往還しながら段落の配列を考え、『自分の考え』『考えの理由』『考えるきっかけになった出来事』の順番に付箋紙を並べて、文章を構成しました。『自分の考え』を始めにもってきた理由は、将来の夢が外科医だということを始めの段落にすることで、おうちの方にどのような夢なのかを分かりやすく伝えられると思ったからです」などと、意図をもって文章を構成する姿。

2 本単元で育成する資質・能力（評価基準）

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③態度
国語科	○ 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係に関する知識・技能	○ 内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして文章を構成する力	○ 思いや考えを伝えようとする態度

3 単元の計画

次	【学習活動】☆資質・能力	【働き掛け】	時
一次	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文章を書く学習の流れを理解する。 ○ 将来の夢についての「自分の考え」「考えの理由」「考えるきっかけになった出来事」等を付箋紙に記述する。 ○ 付箋紙を基に、伝えたい自分の将来の夢を決定する。 ○ Post-it Plusを使って、文章の構成を考える。 ○ Wordを使って、第一段階の文章を記述する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 言語活動「将来の夢についての考えをおうちの方に書いて伝えよう」を提示する。 ◆ 一週間の取材期間を設ける。一人に十枚程度の付箋紙を配付し、将来の夢について考えたことや図書で調べたことなどを付箋紙に記述させる。 ◆ 書いて伝えたい将来の夢を何にするかを問う。 ◆ Post-it Plusで、文章の構成を考えさせる。 ◆ Wordで、第一段階の文章を記述させる。 	二時間
	<p>○ ぼくは、Post-it Plusを使い、文章の構成を考えてから「外科医になりたい」という将来の夢についての考えをWordで記述できました。</p>		
二次	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達の文章を読み比べ、文章の構成について検討することを通して問いをもち、本単元で追究する学習課題を設定する。 ★国語科③ 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 文章を読み合う場を設定し、伝えたいことと文章の構成とが合致しているかを問い、ペアで相互評価をさせる。 【働き掛け1】 ※ 自分の文章がおうちの方に伝わる文章になっていないことに関する発言やつぶやきがあった場合、挙手を求め、同意を確認する。 ※ 「文章をよりよくしたい」「書き直したい」という旨の発言があった場合、挙手を求め、同意を確認する。 	五時間
	<p>○ なぜこのような文章の構成にしたのか、ペアの友達にはよく伝わらなかったよ。文章の構成を考え直した方がおうちの方に「外科医になりたい」という将来の夢が伝わる文章になりそうです。</p>		

将来の夢をおうちの方に伝えるためにはどのように文章を構成するか。

- 課題解決の見通しをもつ。
★国語科①

○ 図書等から不足の情報を補ったり、Post-it Plusを使って段落の配列を替えたりすることで、おうちの方に将来の夢が伝わる文章が書けそうです。

- 収集した付箋紙を並び替え、複数の文章の構成を考える。

★国語科②
★協働性
★ツール活用能力

○ ぼくは、「外科医になりたい」という将来の夢を伝えるために、「自分の考え」「考えるきっかけになった出来事」「考えの理由」の「すぐ型」で文章の構成を考えました。

- 自分が考えた文章の構成の中から、最終的に一つを決定する。

★国語科②

○ ぼくは、「自分の考え」「考えの理由」「考えるきっかけになった出来事」の順番に付箋紙を並べて、文章を構成しました。「自分の考え」を始めにもってきた理由は、将来の夢が外科医だということを始めの段落にすることで、おうちの方にどのような夢なのかを分かりやすく伝えられると思ったからです。

- 第二段階の文章を記述し、様々な資質・能力を発揮したことを自覚する。

★国語科①②③
★ツール活用能力

○ ぼくは、これから文章を書いていくときに、伝えたいことをはっきりさせて相手に合わせて文章を構成していきたいです。そして、段落の並べ方を考えて文章を書いていきたいです。

- ◆ 教材文を提示し、自分の文章に必要な課題解決の方策を問う。

【働き掛け2】

- ※ 挙手を求め、子どもの発言を整理・分類して板書する。
- ※ どうしてそのような文章の構成にするのか、理由が不明確な場合は、問い返す。
- ※ Post-it Plusに関する発言があった場合には、Post-it Plusを使うことのよさを問い返し、全体で共有を図る。

- ◆ 収集した付箋紙をどのように並べ直すかを問い、複数の文章の構成を提案させる。

【働き掛け3】

- ※ 一人に一台のタブレット端末を机上に用意しておく。
- ※ ペアや班で話し合いながら進めてもよいこととする。ペア以外の友達と相談することも認める。
- ※ 付箋紙を並び替えるだけではなく、必要な付箋紙を加えたり不必要な付箋紙を削ったりしてもよいこととする。
- ※ 模範的な再構成をしている子どもを採り上げ、Post-it Plusの画像を大型モニターに映し出して発表させる。
- ※ 発表者に対する質問や確認、共感的な助言を求め、子どもの発言を整理・分類して板書する。

- ◆ 文章の構成を最終決定させ、判断した理由を問う。

【働き掛け4】

- ※ プレゼンテーションをつくるアプリ、ロイロノートで、最終的な文章の構成(Post-it Plusの画像)と判断した理由とをまとめさせる。
- ※ 構成の意図が読み手に伝わるかどうかを最終的な構成を決定する際の視点とする。
- ※ 挙手を求め、子どもの発言を整理・分類して板書する。
- ※ 子どものロイロノートを大型モニターに映し出して、全体の前で発表させる。

- ◆ 文章を記述させ、これから文章を記述していく際に考えていきたいことを問う。

【働き掛け5】